

令和3年度 事業計画・収支予算書

公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー



目 次

令和3年度 事業計画

- I 事業の運営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

- II 事業の概要
 - ◆ 公益目的事業の実施
 - 公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業・・・・・・・・ P 2
 - 1 観光地域づくり戦略策定・管理事業
 - 2 観光地域づくり推進事業
 - 3 地域の魅力創造事業
 - 4 観光プロモーション事業
 - 5 その他観光振興に関する事業

 - 公2 コンベンションを中心とした MICE 支援事業・・・・・・・・ P 9
 - 1 コンベンション誘致事業
 - 2 コンベンション主催者への支援事業
 - 3 コンベンション関連情報の収集・分析事業

 - 公3 観光案内所管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11
 - 1 浜松市観光インフォメーションセンターの管理運営

 - ◆ その他事業の実施
 - 他1 会員サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12
 - 1 賛助会員への情報提供
 - 2 観光関係優良従業員の表彰
 - 3 情報交換会の開催

令和3年度 収支予算

- 収支予算及び内訳書（正味財産増減計算書ベース）・・・・・・・・ P 13
- 資金調達及び設備投資の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・ P 16

令和3年度 事業計画

I 事業の運営方針

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、世界規模で出入国が大きく制限されました。国内でも緊急事態宣言が発令され、観光分野においても多くの事業者が休業を余儀なくされるなど、未曾有ともいえる事態に終始した一年となりました。一方、早期収束の見通しが見えないなか、コロナとともに生活する新しいスタイル、新たなニーズが生み出され、人々の生活が大きく変容した一年でもありました。

令和3年度は、これまで当財団が培ってきた実績のもと、観光地域づくりを着実に深化させるとともに、新しい生活様式に対応した取り組みをさらに推進することによって、当地域から国内外に元気を発信し、観光を通じて地域全体が活性化するよう尽力してまいります。

さて、公益財団法人の事業としては、「公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業」「公2 コンベンションを中心としたMICE支援事業」「公3 観光案内所管理運営事業」の3本の柱を引き続き推進してまいります。

公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業については、観光地域づくりのための「8つの基本戦略」に基づき、設定したKPIの達成に向けて推進してまいります。

新たな取り組みとしては、静岡県が構築する観光プラットフォームの情報提供ツールである観光アプリと連携した顔認証決済実証実験を、静岡県との共催事業として実施を致します。

また、コロナ禍を契機として全国的にニーズが拡大しているワーケーションについて、浜名湖周辺の15の宿泊施設と「ロングステイ HAMANAKO」を構築し、公式HPからの情報発信やメディア向けのFAMツアーの開催など健康経営を進める企業を対象にPRを行ってまいります。

広域連携事業の新たな取組としては、三遠南信地域の南信州と東三河との観光情報の相互PRや各エリアの旅行会社と共に地域の体験商品の相互販売を行ってまいります。

「公2 コンベンションを中心としたMICE支援事業」については、新しい生活様式のもと、オンラインを活用した会議やリアルとオンラインを併用したハイブリッド型で、コンベンションを新たな様式で再開する動きがでてきました。新型コロナの動向を注視しながら、コンベンション主催者との連携を密にし、安心安全なコンベンションの開催支援と、飲食やアフターコンベンションの提案を行ってまいります。

「公3 観光案内所管理運営事業」については、浜松市観光インフォメーションセンターのホスピタリティの質を高めながら、来訪者のニーズに合わせた満足度の高い情報提供につとめ、幅広いお客様に対応してまいります。

Ⅱ 事業の概要

◆ 公益目的事業の実施 (182,432 千円)

公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業 (129,946 千円)

浜松市、湖西市及び周辺地域の産業、文化、歴史などの資源を活用し、行政、観光施設、民間団体・企業等との連携を図り、地域のブランド確立を目指して、調査、分析に基づく戦略策定と、戦略に基づく効果的・効率的な情報発信を推進するとともに、観光客の誘致及び受入により交流人口の拡大を図り、観光まちづくりの推進と地域社会の健全な発展を目的とする。

1 観光地域づくり戦略策定・管理事業

(1) 顧客満足度調査、来訪意向調査、旅行消費額調査等の実施

- ①域外からの来訪意向、来訪者満足度、リピーター率、旅行消費額等の独自調査の実施及び分析
 - ・全国観光圏推進協議会の来訪者満足度調査の実施
 - ・外国人の年間宿泊人数調査
 - ・ドコモユーザー 5 千人に対するブランド認知率と来訪意向調査

(2) 観光地域づくり戦略計画に基づいた事業の実施、管理

- ① 8 つの基本戦略に基づいた事業の実施、管理

- ① 効果的な情報発信の基盤整備
- ② 顧客の囲い込み策の構築
- ③ 観光商品の開発と誘客促進
- ④ サービスの品質向上
- ⑤ 広域周遊施策の推進
- ⑥ インバウンド受入環境整備
- ⑦ 観光インフラの整備推進
- ⑧ 地域との協働

※上記 8 つの戦略は浜名湖観光圏の 24 事業として実施 (別紙 1 参照)

※公 1 事業と 24 事業の関係性 (別紙 2 参照)

(3) 戦略計画の周知・啓発

- ・静岡県等と連携した観光説明会・商談会の開催
- ・浜名湖観光圏シンポジウム開催による戦略計画の周知・啓発
- ・スゴイもの50撰ポスター（魚、野菜、祭り、花木）の設置による地域の魅力の域内発信
- ・海の湖教科書の作成と販売による浜名湖の魅力の域内発信
- ・WEB（公式HP・SNS・YouTube）を通じた各種情報発信
- ・商工会議所や教育施設等での事業戦略の説明
- ・地域の百貨店等での観光ブースの出展

2 観光地域づくり推進事業

(1) 浜名湖観光圏整備推進事業の運営管理

- ①7つのワーキンググループの開催
 - ・各事業の詳細の決定、進捗管理
- ②浜名湖観光圏戦略会議の開催
 - ・浜名湖観光圏事業の計画決定、進捗管理
- ③浜名湖観光圏総会の開催
- ④浜名湖観光圏シンポジウムの開催
 - ・地域住民、観光関連事業者等の意識啓発
- ⑤全国観光圏推進協議会への参加
 - ・全国観光圏推進協議会への定期参加
 - ・13観光圏連携事業への参加
(人材育成、顧客満足度調査、ツーリズムEXPO出店等)

(2) 観光地域づくりプラットフォームの確立

- ①各観光協会、観光事業者等との事業等のマッチング、すり合わせの実施
 - ・浜名湖花フェスタ実行委員会への参画
 - ・浜名湖一周サイクリングにおける各観光協会とのおもてなし連携
 - ・掛川市、袋井市、森町含む西部エリアでのガーデンツーリズムの推進
 - ・浜松・浜名湖だいきネットへの体験型コンテンツ掲載の拡充連携
 - ・スゴイもの50撰ポスターによる地域の魅力の域内発信
 - ・海の湖教科書の配布と販売による浜名湖の魅力の発信
 - ・静岡県と連携した顔認証決済実証実験の実施
 - ・三遠南信連携として南信州と東三河との相互PRと誘客事業

②民間事業者との連携事業

- ・浜名湖周辺の宿泊施設と連携するワーケーション事業「ロングステイ HAMANAKO」の推進
- ・地域産業の視察や経営者の思いや独自のマネジメント手法を知るテクニカルビジットの推進。
- ・サービスデザイン推進協議会とのおもてなし規格認証の金認証推進
- ・クレディセゾンとの連携による WEB 通販の推進
- ・浜松パワーフード学会、農協との浜松・浜名湖の食の PR
- ・ヤマハマリーナ、スズキマリーナとのマリンチック街道の PR
- ・地域事業者とのインバウンド向けコンテンツ造成事業
- ・静岡県文化芸術大学の地域連携演習のプログラム策定
- ・浜松学院大学のイノベータープログラム支援
- ・カタログギフトへの掲載商品の拡充
- ・郵便局物販サービスとの浜松・浜名湖の特産品カタログ作成と販売
- ・ペットツーリズムの推進
- ・南信州観光公社との着地型商品の相互販売

③観光地域づくりや事業連携に向けた調整、セミナーの開催

- ・浜松市、JAL とのおもてなしセミナーの開催
- ・浜名湖の市場や野菜の圃場の視察研修ツアーの開催
- ・海の湖カレッジによる観光人材育成

3 地域の魅力創造事業

(1) 滞在プログラム造成事業

①「海の湖」ブランド体感プログラム開発事業

- ・浜名湖を中心とした体験型コンテンツの造成
- ・ワーケーション事業「ロングステイ HAMANAKO」の推進
- ・産業視察や経営者の経営哲学を知るテクニカルビジットの推進
- ・湖西連峰、天竜、奥浜名湖の山を巡るトレイルツーリズムの推進

②サイクリング推進事業

- ・受入体制整備（サイクリストの宿・バイクピットの認定）
- ・サイクリングアプリによる広域周遊施策の推進
- ・天竜エリアでのマウンテンバイクツーリズムの推進
- ・ナショナルサイクルルート認定に向けた情報交換
- ・地域のガイドサイクリストの育成
- ・長野県との広域連携（塩の道など）
- ・浜名湖1周サイクリング事業（ハマイチ）

③浜名湖舟運事業

- ・ マリンチック街道の PR
- ・ ヘミングウェイカップ開催に向けた情報発信
- ・ 舟運専用の HP による情報発信
- ・ 舟運を活用した広域周遊航路事業

④ガーデンツーリズム推進事業

- ・ アメイジングガーデン浜名湖の推進（共通入場券、情報発信）
- ・ 浜名湖花フェスタを核とした回遊性向上
- ・ 花の集印帳の販売
- ・ インフルエンサーを活用した SNS マーケティング
- ・ 観光関係の紙媒体への特集ページ出稿

⑤ガストロノミーリズム推進事業

- ・ 郵便局物販カタログ「浜松・浜名湖よくばり三昧」の PR
- ・ 浜松パワーフードの周遊事業（デジタルスタンプ企画）
- ・ 浜松・浜名湖の食の動画による PR

⑥「浜松・浜名湖ちよい旅ガイド」の企画、催行

- ・ 体験商品造成に伴う民間事業者との連携
- ・ 体験商品の紹介サイトの運営

(2) 浜松まつり組織委員会及び同委員会広報宣伝部の管理運営（事務局）

①浜松まつり組織委員会

本市最大のイベントである浜松まつり組織委員会の事務局として、浜松まつりの運営を行う。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため国や県などが示すガイドラインを遵守するとともに、独自のガイドラインを作成・徹底したうえで、凧揚げのみ（糸切合戦は禁止）、無観客で実施する。開催期日も、凧揚げ会場の密を避けるため、1日～5日までの5日間とし、参加町を振り分けて分散開催する。

例年行っている御殿屋台引き回し、にぎわいイベントは中止。

②浜松まつり組織委員会広報宣伝部

例年行っている、PRポスター・ガイドブック等の宣伝ツールの作成・配布や歓迎装飾などは行わない。

関係者のみの無観客開催となるため、観光客等が来場することのないよう、インターネット等で周知を行う。

(3) 出世の街浜松 家康公祭り実施に関する連携

若き日の徳川家康公が天下統一の礎を築き、歴代城主が江戸幕府の要職についた「出世城」である浜松城を会場に、浜松の歴史と文化を伝えるイベントを開催する予定。

(4) 地域特産品販路開拓支援事業（事務局）

浜松・浜名湖地域が全国に誇る特産品と観光振興に繋がる商品をまとめたカタログギフトの作成、販売を通じ、特産品の販路拡大と本地域のブランド化を図り、観光誘客を促進するとともに、地域全体経済の活性化に寄与する。

①浜松・浜名湖物産振興協議会事務局の運営及び販売

- ・カタログ掲載事業者との契約、商品の受注連絡、発送確認、代金支払い
- ・販売委託先との契約、納品、販売数管理
- ・カタログ、注文ハガキ、PRチラシ、ポスター、HP等の作成 等

4 観光プロモーション事業

(1) 観光案内ウェブサイト管理運営

- ①浜松・浜名湖地域の観光情報サイト「浜松だいすきネット」の管理運営
- ②アメイジングガーデン・浜名湖の公式HP 運営管理
- ③浜名湖わんこ旅のHP 管理
- ④ロングステイ HAMANAKO のHP 管理

(2) 国内セールスプロモーション事業

①浜名湖観光圏整備推進事業

- ・浜名湖 1 周サイクリング「ハマイチ」、ワーケーション事業「ロングステイ HAMANAKO」、浜名湖舟運の「マリンチック街道」、ガーデンーツーリズムの「アメイジングガーデン浜名湖」など浜名湖観光圏の事業計画に関する情報発信の強化
- ・住民を対象に「浜名湖のスゴイもの50撰」と「海の湖教科書」の作成と学校施設への無料配布、書店での販売を行うインナープロモーション

②東京、大阪、名古屋等でのプロモーション

- ・東京、大阪、名古屋等での観光説明会の開催、AGT訪問、各種商談会、旅行展への参加、プロモーションの実施
- ・静岡県、静岡県観光協会、浜松市等との連携事業

③デスティネーションキャンペーン推進部会西部地域部会の運営

- ・JR静岡アフターDC向け商品の造成と販売促進

- ④各種媒体への広告掲載
 - ・雑誌、WEB、TV、ラジオ、新聞等への掲載

(3) 海外インバウンド事業

- ①インバウンド推進事業
 - ・情報発信の強化（インバウンド向けHPの整備）
 - ・ターゲット国でのプロモーション（台湾、タイ、ベトナム、オーストラリア）
 - ・ランドオペレーターを補完する機能の確立
 - ・欧米豪・台湾向け 在日外国人の目線を入れた商品造成とWEB記事掲載
- ②県内連携事業
 - ・富士山静岡空港利用促進協議会との連携
 - ・TSJ（静岡県DMO）、するが企画観光局、美しい伊豆創造センターとの連携
- ③広域連携事業
 - ・三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会との連携
 - ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会との連携
 - ・昇龍道連絡調整会議との連携
 - ・昇龍道DMO連携委員会との連携
 - ・名古屋市観光コンベンションビューローとの連携

5 その他観光振興に関する事業

各委員会等への参画（順不同）

- ①バイクのふるさと浜松実行委員会
- ②浜松市文化振興財団理事会
- ③浜松国際ピアノコンクール実行委員会
- ④浜名湖地域舟運都市構想研究会
- ⑤浜名湖アートクラフトフェア実行委員会
- ⑥静岡国際オペラコンクール推進委員会
- ⑦浜松市花みどり振興財団理事会
- ⑧浜松 21 世紀都市交通会議
- ⑨静岡県道路交通渋滞対策推進協議会西部地域検討部会
- ⑩ユネスコ音楽都市はままつ推進事業実行委員会
- ⑪浜松・浜名湖地域 食×農プロジェクト推進協議会
- ⑫浜松・浜名湖物産振興協議会
- ⑬浜松交通圏タクシー準特定地域協議会
- ⑭浜松市ユニバーサルデザイン審議会
- ⑮富士山静岡空港利用促進協議会
- ⑯富士山静岡空港利用促進協議会就航促進・利用拡大委員会

- ⑰中部の観光を考える百人委員会
- ⑱三遠南信・伊勢志摩広域観光連携協議会
- ⑲浜松地域の産業観光を推進する会
- ⑳出世の街浜松 家康公祭り実行委員会
- ㉑はままつ都市型レンタサイクル推進協議会
- ㉒ミナトリング実行委員会
- ㉓浜松吹奏楽大会 2022 実行委員会
- ㉔浜松市スマート I C 地区協議会
- ㉕はままつ響きの創造プロジェクト実行委員会
- ㉖ビーチ・マリンスポーツ推進協議会
- ㉗ラグビーワールドカップ 2019 大会及びリハ大会に向けた浜松・浜名湖誘客実行委員会
- ㉘浜名湖キューバヘミングウェイカップ大会役員会
- ㉙浜名湖キューバヘミングウェイカップ大会実行委員会
- ⑳新居弁天地区の観光構想に係る勉強会
- ㉑湖西市観光振興協議会
- ㉒湖西市観光基本計画策定委員会
- ㉓浜松市中小企業振興会議
- ㉔浜名湖地域振興・減災協議会
- ㉕ブラジルホストタウン推進浜松市民会議
- ㉖浜松創造都市推進会議
- ㉗浜松市デジタルスマートシティ官民連携プラットフォーム運営委員会
- ㉘静岡県立美術館第三者評価委員会
- ㉙浜松歴史的風致維持向上委員会
- ㉚浜松文化財活用計画検討会
- ㉛歴史資源を活用した誘客・周遊促進事業推進協議会
- ㉜「第 19 回 WRO JAPAN2022 決勝大会 in 浜松」実行委員会
- ㉝浜松商工会議所 観光サービス部会
- ㉞浜松ホテル旅館協同組合

公2 コンベンションを中心としたMICE支援事業 (34,376千円)

新型コロナウイルス感染症の影響でコンベンションを中心としたMICE開催は、オンラインを利用した会議やハイブリッド会議に開催様式を変えながら回復傾向にある。コンベンションの小規模化や地方での可能性拡大など、新たな様式化の下で本地域の強みを生かした誘致を推進する。

1 コンベンション誘致事業

(1) 首都圏・名古屋・静岡等への誘致活動

(2) 浜松市内及び周辺地域の大学、団体等への定期的な訪問活動

浜松医科大学、静岡大学、静岡文化芸術大学、光産業創生大学院大学、聖隷福祉事業団、浜松医療センター など

(3) コンベンション等運営会社との連携

・首都圏・名古屋のPCO、旅行会社への誘致営業、現地サポート及び情報交換

(4) 浜松地域コンベンション誘致対策協議会の運営

(5) JNTO、JCCB、関係団体が開催する商談会、展示会等への参加

- ①国際MICEエキスポ（IME）への出展
- ②ナゴヤMICEショーケース（MICE商談会）への出展
- ③会議、協議会、セミナー等への参加

(6) 他都市・関係企業との連携活動

- ①中部コンベンション連絡協議会
- ②静岡県コンベンション推進協議会
- ③4都市コンベンションビューロー連携会議（福井県/鳥取県/長野市）
- ④関係事業者との同行営業及び商談会への共同出展

(7) コンベンション開催助成金制度検討

・新型コロナウイルス感染症防止対策助成金制度など

(8) 誘致資料の作成と広報

- ・ホームページの機能強化
- ・機械振興会館等への浜松MICE及び観光情報の出展

2 コンベンション主催者への支援事業

(1) コンベンション開催支援の実施

- ①コンベンション開催助成金の交付
- ②視察受入・アテンド
- ③コンベンション・イベントの歓迎案内掲示

- ④コンベンションカレンダー・ポスターの掲出
- ⑤コンベンション・イベントへの後援
- ⑥MICEガイド・観光パンフレット類提供
- ⑦土産品販売所の設置
- ⑧その他各種支援

(2) コンベンション支援資料の作成と広報

- ①アフターコンベンション資料(うまいもんマップ)の作成
- ②コンベンションカレンダーの更新
- ③主催者に対し観光情報集約(浜松・浜名湖だいすきネット)等バナー添付の推進
- ④ホームページによる情報発信

(3) その他事業

- ・ユニークベニュー等の調査・研究開発(歴史的建造物、ラグジュアリー、式場、伝統芸能など)

3 コンベンション関連情報の収集・分析事業

(1) コンベンション開催意向調査

- ①浜松市内及び周辺地域の大学、病院、事務局等の主催者を対象に、コンベンションの開催意向及び関係諸団体の全国大会等の開催状況を調査し、誘致・支援に活用する。
- ②(一社)日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)が実施する開催意向調査資料5,200件を精査し、効率的な誘致活動に活用

(2) 国際会議統計への情報提供

国際会議開催実績の集計を静岡県及びJNTOへ情報提供

公3 観光案内所管理運営 (17,750千円)

浜松市より受託している「浜松市観光インフォメーションセンター」において、来訪者に対し、観光、イベント、交通、飲食、宿泊等に関する各種情報を提供するとともに、市民団体(観光・通訳ボランティア)との連携による地域全体でのホスピタリティ溢れる対応により利用者の利便性の向上を図る事業を推進することで、地域社会の健全な発展に貢献することを目的とする。

1 浜松市観光インフォメーションセンターの管理運営

- ・観光、イベント、地域情報等の収集、案内
- ・パンフレット・チラシ等の収集、配置及び配布
- ・観光イベント等の最新情報の収集
- ・利用者にわかりやすい資料の作成、配布
- ・市内各観光案内所への情報提供
- ・パンフレット等の郵送請求への迅速な対応
- ・観光PRのための自主事業の実施
- ・浜松市土産品協会と連携し、特産品・土産品を展示
- ・観光ボランティアコーナーの設置
浜松ボランティアガイドの会及び通訳ボランティア HELP の会と連携
- ・Wi-Fiによる情報提供
- ・接遇研修への参加(ユニバーサルツーリズムへの対応等)
- ・アプリを活用した手荷物預かり
- ・車椅子、ベビーカーの貸し出し

◆ その他事業の実施 (1,350 千円)

他1 会員サービス事業 (1,350 千円)

地域全体で観光・コンベンション等による来訪者へ満足度の高いおもてなしを実施するため、会員間における情報交換・共有を通してのスキルアップを図るとともに、当財団の活動に対する理解を得ることによる、当財団の基盤・組織力の強化を目的として、賛助会員を対象とした各種事業を行う。

1 賛助会員への情報提供

(1) ホームページでのコンベンション情報の提供

- ・コンベンションカレンダーによる開催情報の提供

(2) マーケティング調査結果等の観光関連資料の提供

- ・官公庁（観光庁、県、浜松市、湖西市など）、ビューローが実施する各種調査結果の提供。

(3) メールマガジンの配信（月1回）

- ・官公庁、ビューローからの情報提供
- ・会員から情報を募集しての各種情報提供

(4) 会員情報紙の発行（年数回）

- ・会員情報紙「Hamanaakoぷれす」の発行

2 観光関係優良従業員の表彰

- ・浜松市及び周辺地域の観光産業の振興に著しく功績のある優良な観光関係従業員を表彰する。

3 情報交換会「賛助会員の集い（観光セミナー及び交流会）」の開催

- ・会員を対象とした観光セミナーを開催するとともに、あわせて会員同士の交流、情報交換の場としての交流会を開催する。